

わしたしまの情熱キーパーソン



行政の人たちと地域みんなが一緒になって動けば、地域はより快適に、もっとハッピーに。このコーナーでは、そんな地域づくりに取り組む地域住民と行政担当者の「協働」について紹介していきます。

那覇市

市民参加をモットーに、公園内の湧水を利用し水辺環境の復元を目指す



側溝に注ぎ込む湧水を利用して、せせらぎと水たまりのビオトープを作ります。まずはイメージ作りから

二〇〇八年四月、沖縄自然環境ファンクラブは、那覇市公園管理室と協働で「末吉公園みんなのビオトープ整備事業」をスタートさせました。同事業は、遊歩道の側溝に流れ込んでいる湧水を利用して、せせらぎと水たまりのビオトープをつくろうというものです。「今、身近な自然がどんどん減っています。自然を守るために具体的に何ができるか考えたとき、末吉公園内の湧水を生かして、生き物が棲めるような水辺環境を復元させるというアイ



「末吉公園ビオトープ作り、石集めとイメージ作り」で、公園内の石を集めました

デアが浮かびました。そこで、那覇市の市民提案・協働型まちづくりコースの助成金を活用し、那覇市公園管理室と協働で事業を進めることにしました」と同クラブ代表の藤井晴彦さん。

那覇市公園管理室の長堂克彦さんは、「公園管理業務は施設の整備・管理が中心ですが、末吉公園は那覇市内では多様な自然が残る公園という位置づけで、活用を模索していました。今回の事業を一つの試行とし、沖縄の植生を生かした公園づくりを進めていきたいと思っています」とビオトープ整備事業に対する意欲を見せる。

助成金はあくまでもハード事業対象なので、ソフト事業を進めるにあたっては、那覇市立「森の家みんな」や安謝児童館、安謝川をきれいにする住



安謝児童館 大村朝建さん 沖縄自然環境ファンクラブ 藤井晴彦さん 那覇市公園管理室 長堂克彦さん
那覇市建設管理部 公園管理室 TEL:098-951-3239

民の会など、関係機関や市民団体に参加を呼びかけました。これまでに、「大山湿地植物観察会」「末吉公園ビオトープ作り、石集めとイメージ作り」などのイベントを実施しています。安謝児童館館長の「大村朝建さんは」僕は生き物を観察するのが好きなのですが、末吉公園にはいろいろな生き物がいるんですよ。まずは身近な自然に目を向けてほしいですね」と、同事業の意義をアピール。市民参加をモットーに、身近にある残された自然を守るため、息の長い活動を目指しています。

ビオトープ整備事業に興味のある方は biotope@harusa.net までご連絡ください。

宜野座村

地域住民に委員を委嘱。ポラントシアでホール企画、運営に取り組む

宜野座村文化センターは、文化のまちづくりの拠点として二〇〇三年四月にオープンしました。同センターの劇場棟、通称「がらんホール」は約四〇〇人が収容可能。これまでにコンサートや映画上映、村内カラオケ大会など、さまざまな催し物が企画、運営されています。



宜野座村文化のまちづくり事業実行委員会のみなさん



がらんホールのロビーではドリンクサービス付きの「大人の音楽会」を定期的に開催しています

されました。行政や文化協会をはじめ婦人会や老人会などの地元団体から十名の委員を選任。委嘱し、同ホールの運営に関わってもらっています。年齢や職業も含めて十人十色なところが、魅力的な委員会です」と、同委員会の世話役を務める村教育委員会係長の金城弘美さん。

一方、小越友也さんは、専門員として同ホールの企画・運営・管理を委託されています。「村で初めてのホールですから、まずは村民に認知してもらって、足を運んでもらうためにプログラムの充実に努めてきました。このため地元の人を何求められているのか、二



企画・運営・管理担当 小越友也さん 宜野座村教育委員会 金城弘美さん
宜野座村文化センター「がらんホール」 TEL:098-983-2613

ーズを把握しなければなりません。そういう面からも実行委員会の存在は大きいですね」と小越さん。月に一度の定例会では、和気あいあいとしたムードの中、小越さんの企画案に対し、活発な意見がかわされます。同会終了後、委員のみなさんに同会活動の感想を伺ってみました。「長い時間はかかるかも知れないけれど、村づくりに貢献できたらいい」「地域にいる以上、何かのかたちで支援できたいと思っています」など、いずれも意識の高い答えが返ってきました。

「オープンから六年、認知度は高まったと思います。これからはワークショップなど、育成事業にも力を入れていきたいですね」と小越さん。今後のさらなる展開、活動が期待されます。

沖縄県広報誌 平成20年8月1日発行第32巻8号通巻395

美ら島沖縄

企画・編集・発行 沖縄県知事公室広報課
〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2
TEL.098-866-2020

■表紙 写真・文：今泉 真也
涼しい夕方になると、家々から人が少しづつ外に出てくる。いつもは早くに寝かしつけられる子たちにとっても、夜の長い夏休みは特別な時間。花火の匂いは夏の記憶。

■P12-P13 季節情報提供
(財)沖縄観光コンベンションビューロー

今年も夏の甲子園が始まります！悲願の夏初優勝を願って決勝戦まで応援したいですね。ちばりよ、浦添商業！私も草野球で高校球児に負けないうらい熱い試合をしたいと思えます!!チャンスに強いバッターになれるように素振りしようっ。(フア)

かねてより噂になっていたiPhoneが遂に発売されました。発売日当日、県内の取扱店前には行列ができるほどの人気で販売開始と同時に即完売だとか。新しモノ好きな私としては以前から気になっていた一品なのですが、真夏の炎天下で長時間並ぶ根性はなく、iPhone購入は泣く泣く断念。しばらくして店頭に出回ってきた頃を狙って華麗に購入しようと思いましたが、その前に購入資金が…(汗) Tak

編集後記